

J A R L

香川クラブ報

No. 409 平成28年10月15日



J A 5 Y D E

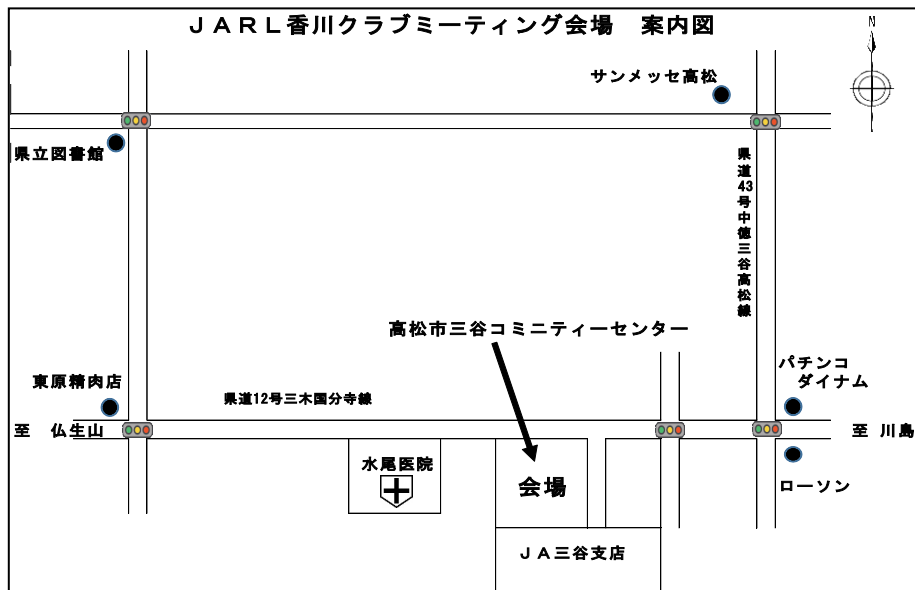
クラブミーティングのご案内

暑い夏も終わり、忘年会の時期が近づいてきました。11月にはARDF北四国大会や高松市震災対策総合訓練等の行事があり、打合せを致したくクラブミーティングのご案内をさせていただきます。

時期的に大変ご多忙とは思いますが、多数の御出席宜しくお願い申し上げます。

記

- 日時： 11月11日（金） 19：30～21：30頃
場所： 三谷町 高松市三谷コミュニティセンター
議題： 1. ARDF北四国大会
2. 高松市震災対策総合訓練
3. マラソンコンテスト
4. 忘年会
5. その他



北四国ARDF大会のお知らせ

香川・愛媛両県支部合同の ARDF 競技大会を下記の通り開催します。なお、今大会をもって北四国 ARDF 競技大会は休止になります。

記

- 日時** 11 月 13 日（日）09:00～受付
- 場所** 香川県高松市南部予定（後日参加申込者へ資料送付）
- 参加資格** JARL 会員・非会員を問いません
- 参加費** ○大人：2,000 円 ○19 歳未満：1,000 円 ※傷害保険費を含む
- 競技方法** JARL 制定（平成 26 年 2 月 4 日改正）の ARDF 競技実施法による
- 周波数** ○145MHz 帯（当日指定） ○電波形式：A2A
- 参加部門** ○W12/W15/W19/W21/W35/W50/W60 ○M12/M15/M19/M21/M40/M50/M60/M70
- 申込要領** ○氏名、コールサイン、生年月日、郵便番号、住所、電話番号、参加クラス、当日の弁当の要・不要を記入した申込書（JARL 制定書式推奨）と SASE（自分の宛名を記入した封筒に 82 円切手をはった返信用封筒）に、弁当が必要な方は弁当代金 500 円を追加して小為替を同封し下記まで申込み
- ゆうちょ銀行から「ゆうちょ銀行 通常預金 記号 16340 番号 9034871」、その他の銀行などからは「店名六三八 店番 638 普通預金 0903487」（ヒガ ヒサオ）へ送金可 ※申込書に参加費の送金方法等を記入
- 申込は E メールでも受付 ※案内も E メールで送付
- 中止以外は参加費の返金をいたしません
- 申込先** 〒
- 比嘉久雄 方 北四国 ARDF 大会係



- 申込締切** 11 月 3 日（木）必着
- 審判募集** 希望者は、ハガキまたは E メールで 郵便番号、住所、氏名、コールサイン、電話番号、審判員資格者証番号を記入、10 月 31 日までに申込先へ送付
- ※審判員資格者でない方で競技をお手伝いいただける方は、ご一報をお願いいたします。

「東北四大夏祭り感動ロマン紀行」に参加して

JA5TOP

クラブ報 8 月号には他に記事が多く頁数の都合から今回の寄稿となりましたが、去る 8 月 4 日～7 日まで家内と一緒に標題の東北四大夏祭り感動ロマン紀行というツアーに参加して来ました。東日本大震災のことも有り、「旅行の思いたち」から約 6 年間待っての実現です。今年は 4 月頃から家内が行こうかと言いつし、私はいつでも OK の姿勢で反対は無く、早めの申し込みをするよう勧めました。パンフレットでは国内ツアーなのに費用は海外旅行なみに高めの夏祭り価格でした。出発準備も整った前日の夜、田んぼの水もたっぷりと入れ、娘にワンちゃんの世話を頼み、4 日の早朝いざ出発。

初日、朝一番のシャトルバスで空港へ向かう。空港から添乗員同行で年寄りツアーの様相です。羽田で徳島組、愛媛組もそろって総勢 28 名が東京駅へ移動、添乗員の点呼はやまびこ方式で 1-1、2-2 と返答ルールが決められていたが、つい 2 のコールに 3 と答えて笑いを呼びながら顔見知りになって行きました。東北新幹線のグリーン席で終点盛岡へ向かう。実は新幹線のグリーン席は初めてでしたが長時間乗ってもいいですね。疲れません。疲れるのはここからで午後 3 時頃、盛岡からバスに乗り換えて青森ねぶた祭り会場へ約 3 時間、交通規制の始まる頃にバスを降りて栈敷席へ一番乗り、早い者勝ちでござ席の境界線を広げて皆さん足伸び伸び、始まる前においしい弁当で腹ごしらえして、ねぶたを待ちました。19 時、大通りにねぶたが 18 台配置されて目の前には



パナソニックねぶた会がスタートを待つことになりました。写真は東芝の享保年間大岡越前守忠助が造った「いろは 48 組」の火消衆一場面で勇壮で電飾も 300 個くらいあるそうです。発電機は後ろから小台車でついて行っていました。台は高さ 5 m、幅、奥行き 7 m と大きさにルールがあり、重さは約 2t。こちらで言うゴム車輪の大八車に飾り付けたような物ですが 1 台 2000 万円もかかるそうです。これを 15～20 人位で引き回し、台の後ろ側で囃子^{はやし}の大太鼓 6～8 個を踏み台に乗ったり、歩きながら叩きます。その後ろも囃子^{はやし}の笛や鉦がリズムを打ち鳴らし、さらにそれに合わせて着飾ったハネトが跳ね踊りながらラッセ、ラッセの掛け声です。ハネトは浴衣に鈴をつけており、応援者に渡したり投げたりします。この鈴は縁起物だそうで、ちなみに家内と二人で 4 個ゲットしました。これとは違いますが孫たちのお土産も中学生が売りに来る綺麗に飾った金魚付きの鈴飾りでした。祭りも最高潮の中、2 時間が経過し集合時間が来た。祭りではどこも同じようにトイレがごった返して大変でしたが、何とかバスへ乗り込み高速道で八幡平市の温泉ホテルへ。1 時間 40 分ほど走り、到着したのは 23 時半頃で部屋に入ると夜食の大きな

おむすびが 2 個ずつ配られており、くつろぐ時間は少なく温泉につかるのがやっとなで、寝るのは 1 時頃でした。



2 日目朝はゆっくり 9 時半出発、しかしまた高速道をバスでブンブン走り、北秋田市・大太鼓の館見学と昼食、男鹿・寒風山回転展望台、なまはげの真山伝承館を回った。
(左の写真は青森ねぶた祭の中で唯一ねぶたと違う大太鼓が廻っていたものです)

ギネス世界一の太鼓は直径 3.71m あり、胴の長さが約 4.5m のつづみ型で大人 3 人が上から叩き下からも 3 人程がヤナギのバチで叩くそうで館では我々も叩かせてくれた。気持ち良い低い響きで力いっぱい叩いて憂さ晴らしが出来ました。つづみの胴は厚さ 5cm の秋田杉で革部は乳牛ホルスタインのオスの革で大きいものを 2 頭選び、それぞれ表と裏を貼ったものです。もうこれ以上大きいものは革に縫い目が出るので作れないとのことでした。観光地を巡り、秋田市内で夕食を済ませて、いよいよ秋田竿燈まつりだ。

ここではやはり大通りの真ん中に階段状の棧敷席を作り大きい場所番号、さらに縦横の番号が付された席で 1 人 1 人席が指定される。つまり高松中央通りのグリーンベルト部に東向き＋西向きの階段状棧敷を作ったようなもので自分からは片側だけが見えるものです。指定席で待っていると 19 時前に竿燈が入場し大通りを埋め尽くします。



同時に背中側の通りも反対側からの入場で埋まり、棧敷を取り囲むように細長い円周を作り約 280 個の竿燈が配置された。他所でスピーカーから流す偉い人の挨拶の後、笛音で一斉に竿燈が起こされるところが一つの見どころです。これが 3 回あります。起こされた竿燈はグループの差し手 5 人ほどの個人技が光ります。手のひらや額の上、

腰の上などでバランスを取り交代で観客に見せます。更に熟練の差し手は扇子を使ったり傘をさしたり、継竹で 4 本分を伸ばして高さを競うこともあります。他の竿燈と競り合ったり、無理覚悟で継竹を 5 本にして倒れたり折れたり、観客の防護ワイヤーに倒れ掛かったりして中のろうそくが消えたり提灯が燃えることも有ります。2 時間程見ている間に 8 本位が倒れて提灯が燃えるなどドッコイショー、ドッコイショーの掛け声も勇ましいが応援の中で提灯取り換えやろうそく点火のトラブル、補修も有ります。私はねぶた以上に興奮しました。苦労は集合場所のすぐそばに仮設トイレが 10 個ほどありましたが男女とも 1 個に 10m 以上の行列です。トイレもままならず、私の感覚では 20 分待ち？です。集合して歩いてバスまで行きましたが、ほんの少し他のツアーより早く乗り込み、市街地で混み合うギリギリセーフと言ったところでした。また 1 時間半ほど高速を走り岩手県雫石町鶯宿の温泉旅館へ向かいましたが前日と同じく 11 時過ぎ到着して夕食後の風呂でした。

3 日目は疲れもピークで朝 10 時出発、昼食後世界遺産の中尊寺・金色堂を専門ガイドさんの案内で見学、山形県の山寺・根本中堂に登り一杯汗をかき、夜の山形花笠まつりを見学しました。花笠まつりはテレビで見た通りの踊りで高松まつりの「一合まいた」に似た盆踊りで一方通行にしたたいへん狭い通りで踊っていました。他の祭りと比べて見学時間は短く家内と踊りのスタート後 30 分でバスに戻りました。皆さんそろい次第で、宮城県の秋保温泉に向かい 20 時頃には温泉旅館に到着。ここで初めてゆっくりと温泉湯に浸かった気分を味わいました。早朝から朝湯も浸かってさらに一人に 1 個、自宅までの宅配サービス付だったので食事前に大の箱 2 個分（旅行カバンも入れた）を預けて荷物も軽くなり気分晴れ晴れでお腹いっぱい朝食でした。



最終日の 4 日目は仙台七夕まつりでこれは自分達が歩いて観る祭りであります。胸、腰くらいまで大きな七夕飾りが釣り下がっており、前が見えないのでアーケード街では家族や仲間がはぐれることが多くあるそうです。七夕祭りの飾りのある通りを 1 時間ほど歩いてこの飾りは家に帰って孫に作ってやるのではということになり、100 円ショップなどで材料を買い集めてまた荷物が増えました。私は暑

い中、歩き途中に見つけたイチゴだけを凍らせてスライスしたものにジャムやクリームシロップをかけたもの（ちなみに 500 円/個）が一番のごちそうでした。午後になり、14 時発の東北新幹線「やまびこ」で仙台駅から帰途につき羽田経由、最終便 21 時 10 分着の飛行機で高松へ無事帰りました。

今回の旅行では祭りは迫力満点でしたが東北の名物料理は牛タンくらいで何も味わうことなく、東北の地元ガイドは「緑が多い」「緑に囲まれた」と言うが仙台市以外は田舎で町から町まで遠かった。一日のバス走行距離も平均 320km 以上と程度を超えていたが私も、足の悪い家内も元気で楽しい満足のいく旅でした。

泊りがけのフィールドデーコンテスト

JG5JXW

Youtube で ARRL のフィールドデーコンテストの様子を見てみると、大人数でタワーを建てたり、巨大なテントで各バンド毎に運用したり、とても楽しそうな光景がみえていつも羨ましく思っていました。

次のフィールドデーコンテストは、自分も泊りがけでやってみようと思い、また去年は自宅からで係数1であったため、これが2なら上位7位に入れるんじゃないかと淡い夢をみながら準備を整えていきました。

まずはシャック兼宿泊用テント、これは姪たちと海水浴に行くときに使っていたテントが家にありますのでそれで代用。

一番悩ましいのは電源です。ALL JA5 コンテストの時トラック用のバッテリーで一晩運用してみると全然へっちゃらで使えそうでしたが約18時間もつかどうかは未知数でしたので心配でした。



そんな悩みを抱えつつ、ヤフオクを見ているとカセットガス式発電機の未使用品が約半額で出ていました。相当な無駄遣いかも知れないのですが、自宅の防災計画を作っていた時、発電機さえ揃えばだいたい完了する予定も有ったので、なんとか落札しました。そんなこんなで、準備は万端、車に積み込むとギリギリいっぱいでした。今年から SOTA 運用のため、山道も楽な軽自動車「R2」に変えたので、こんな時には不便です。

16:30 に五色台の以前料金所が有った辺りで設営開始。17:00 頃設営も終わりました。

そうすると、神奈川県から車でのんびり旅行している親子が来て「横でテント張らせて下さいね」と声をかけられました。夜通し無線をするつもりだったので困ったなあ〜と思っていたのですが、その方も「元ハム」で、電信の音が懐かしいから気にせずやって下さいとのこと。安心ですし、寝る時の心細さも無くなります。

そして、18:00 にコンテストスタート、7.013.3MHz でいい感じのチャンネルを確保できたので意気揚々とスタートしたと思ったら、仕事のトラブルメール（自動通報）が届いてしまいました。しばし中断して仕事のメンテナンスも完了して戻ってくると、案の定チャンネルは取られていました。仕方なく今度は随分離れた周波数で CQ を出します。どうも、コンディションがイマイチなのか、アンテナ設置がイマイチなのか、全国コンテ

ストにしては応答も少なかったです。夜も遅くになると、海外のコンテストが聞こえるようになり、国内はさっぱり応答がなくなっていました。

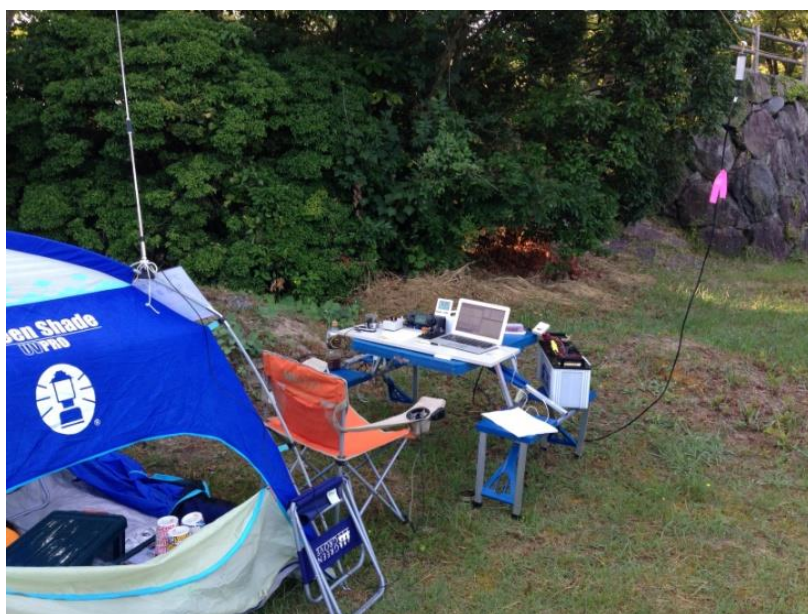
22:00 前には諦めて、持ってきていたビールを飲んで眠りにつきました。車の騒音を気にしていましたが、それ程でもなく夕方は 30℃を超えていた気温も、25℃位まで落ち着き快適な夜でした。難を言えば湿度が 90%になって、ログ帳等がしっとりして書きにくくなってたことかな？

しかし、深夜からは 23℃になり肌寒い。念のため長袖シャツを持っていたのでなんとかしのげましたが、寝返りを打てず、熟睡は不可能でした。

しかし、星空はきれいだし、虫の声に癒やされた至福のひとつときでした。

4 時頃リグのスイッチを入れてみると、海外コンテスト一杯でもう一度寝ます。

5 時頃、まだでした。6 時頃、まだ海外コンテストばかりですが、起きて歯を磨いたり体を拭いて、朝用のシャックの設営です。今度はテーブルでガッツリ行きますよ。



朝もいい感じの周波数を確保できたので、意気揚々と始めるとまた、トラブルメールが届き、手当をして戻るとまた空きがない状態。今度は読んで回って一周りして空きチャンネルを見つけて CQ をだしていました。

8 時台はそこそこ呼んで頂けましたが、その後はイマイチです。

残り時間 1 時間を切り、ラストスパートをかけなければいけないときに韓国の局と思われる所から妨害(?)が始まり、さすがに意気消沈してしまい、これにて終了としました。

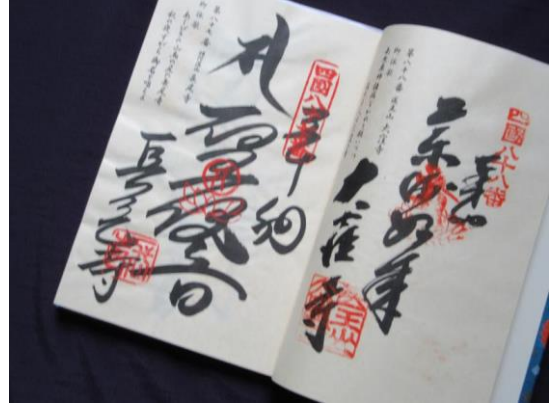
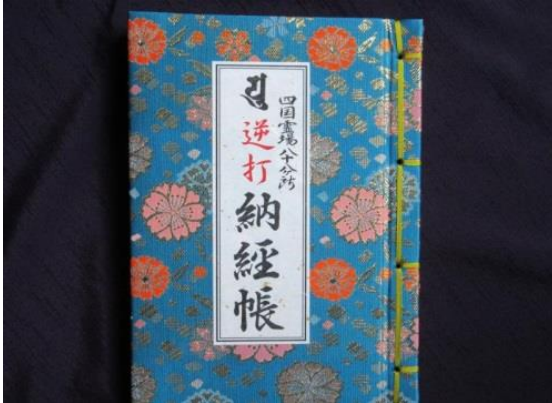
結局去年と比較すると交信局数は随分と少なくなりましたが、マルチが昨年より多いのが救いでした。

それでも、初めての泊りがけコンテスト参加は反省点も数多くありましたが楽しい思い出になりました。運用場所やアンテナについても検討の余地有り、また来年リベンジしたいと思います。

四国八十八カ所逆打ち参り

JA5TFJ

クラブ員の皆様もお四国詣りは経験ずみのお方が多いと思われますが、今年は60年に一度の「閏年丙申」に当たることから、私も過去4回程回ってはいますが、ここ数年大病に見舞われながらも、その都度復帰して生かして貰っている報恩感謝の気持ちで今年春先から、家内と一緒にマイカーで四国八十八カ所結願札所の大窪寺を振り出しに、一番札所の霊山寺に向かって逆参りを始めました。



この逆打ちとはご存知の方もあろうかと思いますが、一番札所から番号順に回るのでなく八十八番札所から四国を反時計回りに巡ることで、通常一番から巡る道を逆に巡る苦労があることから、さらに深い徳を授かると言われていています。その由来は、その昔天長元年、伊予国の豪農衛門三郎が訪ねてきた托鉢僧を竹箒で追っ払ったところ、鉢が八つに割れ、僧も姿を消してしまった。その翌日から我が子八人が毎年一人ずつ亡くなり八人全員が亡くなった。これは僧が弘法大師であったのを追っ払ったためだと気づき、その懺悔の気持ちと過去の極悪非道の過ちを償うため、家族とも別れ、弘法大師に許しを請うため弘法大師を追う旅に出ます。しかし、四国を20回廻っても弘法大師に会えず、遇う為にはお大師様と逆方向に廻れば必ずいつかは会えると廻るうち徳島の焼山寺近くで倒れていた所へお大師様が現れて全てを赦され成仏をした。これが逆打ちの所以とされ、この逆打ちは順打ちの四倍の御利益があるそうです。それで今回廻るのではありませんが、今年は猛暑、長雨続きの天候で最大難所前述の焼山寺から10カ寺ばかりを残しており、天気回復を待つて最後のお参りをと考えております。四国四県共に3カ寺位は参拝に難所と言われる所があり、皆さんの様に ARDF 競技に参加出来る様な健脚ではありませんが、私も若い頃は石段の多い参道も何事も無く登れたものが、今は青息吐息です。それでも何とか本堂、大師堂の前で手を合せることが出来るのは何かのお導きでしょうか。大変抹香臭い話になりましたが、皆さんも時間があれば一度逆打ち参りを始めてみませんか。この逆打ち参りもテレビや新聞の宣伝の影響か、今年はどこのお寺の門前も参拝客の団体バスや県外ナンバーの自家用車で一杯です。

クラブ報の原稿依頼及び送付先

身近な出来事、旅行記、自身のハムライフ、掲載要望などのジャンルは問いません。
原稿サイズ：B5サイズ 出来ればWordで作成しメール、電子メールが無い場合はfaxか郵送。

送 付 先：E-mail

Fax

郵 送 先：〒761-

★★★ 新入会員募集中 ★★★

J A R L 香川クラブでは新会員を募集しています。

今年はクラブ結成68年(1948年10月結成)になります。

そこで、更なる飛躍と新たな歴史を築いていかなければなりません。
クラブに新風を吹き込むと同時に、活性化のためにも新入会員の募集にご協力ください。

*お知らせ

J A R L 香川クラブでは、会員の実態を把握するため、免許状記載事項に変更があったり、新たに無線局の免許状を取得された方は、その都度、お知らせくださいますようお願いします。

将来のインターネットサービスに対応して、現在「電子メールアドレス」を取得している方は、差し支えなければ連絡下さい。

会員の皆様には会費納入につきまして大変無理をお願いいたしました。ご協力により会費の件は完了しましたのでお礼を申し上げます。

J A R L 香川クラブ報

発行責任者	J H 5 L Y W	三 好 伸 幸
編 集 者	J A 5 T F J	横 田 寿 夫
	J A 5 T O P	平 賀 正 明
	J I 5 V U Z	市 原 義 博
	J G 5 J X W	坂 井 進 史